

令和4年度事業計画

本協議会（略：福経協）設立趣旨に則り、福祉人材養成と大学教育を巡るさまざまな課題に会員校が連携・協力して取り組みをすすめるとともに、福祉系大学に寄せられている社会的要請と期待に応じていく。

1. 福祉人材養成の充実と社会福祉士の地位向上に向けた取り組み ～社会的発信力の向上を目指して

- 1) 厳しい学生募集環境と福祉人材の育成・確保に関する課題、社会福祉士の職域拡大と地位向上の課題、質的にも量的にも拡充が求められている福祉職の存在価値と魅力の発信課題等、福祉系大学が抱える諸課題等の解決に向けて、関係団体・省庁等との連携を一層図り、取り組みを進める。【総務・企画委員会】
- 2) 「子ども家庭福祉ソーシャルワーカー」認定資格の動向について引き続き注視し、福経協として必要な対応に努める。また、社会福祉士資格と社会福祉士に関連する資格制度のあり方、社会福祉士国家試験のあり方等についても引き続き検討を進め、必要な対応について関係団体・省庁等との連携を図り、取り組みを進める。【総務・企画委員会】
- 3) 大学間連携を始めとし、高大連携、社会福祉法人との連携等、「連携」をテーマに各大学の取り組みの共有を図り、福経協としての新たな「連携事業」についての検討を進める。【総務・企画委員会】
- 4) この間定着したオンラインでの委員会活動の取り組みを軸に、引き続き会員校同士の情報交換の活性化を図る。あわせて、対面での実施も重視し、ハイブリット型開催についてもすすめていく。【総務・企画委員会／各委員会】
- 5) 本協議会の趣旨に賛同いただける会員校の拡大に、引き続き取り組む。【総務・企画委員会】

2. 各委員会の取り組み

引き続き下記の委員会を設置し、各課題解決に向けて取り組みを進める。会員校は、希望に基づき、各委員会に所属するものとする。各事業推進にあたっては、会員校間の連携強化につながり、全体で取り組むことの効果を追求し、進めていく。

◎令和4年度設置委員会

- ①総務・企画委員会
- ②研究活動・教育向上委員会
- ③就職委員会
- ④学生募集戦略検討委員会
- ⑤大規模災害対応委員会

1) 総務・企画委員会

- ・各委員会や関係諸団体とも連携し、取組みの内容についての発信を強化していく。
- ・引き続き、学生募集戦略検討委員会と共催で、厳しい学生募集状況の改善に繋がる事業を推進する。また、特設サイトの一層の活用について検討をすすめ、福祉の学びを希望する高校生に活用されるサイトを目指す。
- ・研究活動・教育向上委員会と共催で、新カリキュラム（以下新カリ）実施を巡る諸課題に取り組む。あわせて、社会福祉士資格や関連資格をめぐる動きや、社会福祉士国家試験に関連する課題についても、会員校の意見収集に努め、福経協として一致して対応に努める。
- ・地域共生社会の実現に向けて社会福祉士に期待される新たな役割や養成課題、今後を見据えての社会福祉専門職の資格のあり方等をテーマに、外部公開型の勉強会を開催する（11月頃）。

2) 研究活動・教育向上委員会

- ・社会福祉士・精神保健福祉士の新カリ実施2年目を迎え、引き続き新カリが目標とする実践能力の向上に向けた教育内容やICTを活用した効果的・効率的な実習指導のあり方について、会員校の情報共有や意見交換を行う。（勉強会 年2回を予定）
- ・社会福祉士国家試験終了後の会員校アンケートを引き続き実施するとともに、国家試験をめぐる課題解決に向けて総務・企画委員会とともに取り組みをすすめる。

3) 就職委員会

- ・「福祉の学びの優位性」の発信につなげられる就職事例収集の取り組みとして、今年度は近年採用実績や希望者が増えている「福祉職公務員」をテーマに行う。
- ・前半期は、会員校での採用実績や合格に向けての支援プログラムの実施状況等についてアンケートを実施し取りまとめを行う。後半期には、アンケート結果をふまえ特徴的な取り組みを実施している会員校の事例を共有する勉強会を開催する。

4) 学生募集戦略検討委員会

- ・勉強会を複数回開催する。学生募集や広報、入試制度をテーマに取り上げ会員間の共有を図る。
- ・協議会特設サイトの充実を図る。
- ・SNS連動広告を活用したWebマーケティングの実施継続を検討する。
- ・会員校のWebオープンキャンパス等の情報を集約し、協議会ホームページで発信する。

5) 大規模災害対応委員会

- ・昨年度委員会校で検討した「ソーシャルワーカーの声プロジェクト継承事業（仮称）」の実施にむけて委員会校でプレ事業を実施する。
- ・プレ事業の実施をふまえて、福経協全体で取り組む「ソーシャルワーカーの声プロジェクト継承事業」実施概要を取りまとめる。また、会員校が実施する防災及び災害支援に関する活動についての情報発信の取り組みについて、引き続き検討を行う。

以上